

市民と市政をつなぐ 小田原市議会議員 しのはら弘



手づくり
市政情報紙

かけはし

発行者 篠原 弘 / 〒250-0858 小田原市小台322-5 / TEL 090-1652-3900 / E-mail shinohara.hiroshi1116@gmail.com

神奈川県年齢別人口統計調査結果

小田原市人口 18万8025人

前年比684人減 23年連続減

神奈川県は、2020年国勢調査結果を基にした2022年1月1日現在の年齢別人口統計を取りまとめ7月に公表しました。同統計による小田原市の人口は、前年比684人減の18万8025人で、1999年をピークに23年連続での減少が続いています。

1999年のピーク時から 1万2667人減少

小田原市の人口のピークは、1999年の20万692人で、23年の時を経て1万2667人減少。県下の人口順位では、8位の大和市24万1583人、9位の厚木市22万3571に次いで10位、11位は鎌倉市の17万2698人。

14歳以下「年少人口」 2万114人約1割

14歳以下の年少人口は、

前年比421人減の2万114人、全人口に対する構成比は10.9%で県全体は11.8%。

15～64歳「生産年齢人口」 10万7847人約6割

15～64歳の生産年齢人口は、前年比499人減の10万7847人、全人口に対する構成比は58.4%で、県全体は62.4%。

65歳以上「老年人口」 5万6835人約3割

65歳以上は236人増の5万6835人で、全

人口に対する構成比は、およそ10人のうち3人にあたる30.7%で、県全体は25.8%。

小田原市の人口増加策 出生増・死・減・社会増

第6次総合計画では、人口増加に向けた命題を「出生増」「社会増」「死亡減」としています。

出生増

子育て支援策とともに、子どもを産み育てる世代の転入促進・転出抑制といった社会増への取組。

死亡減

健康づくり・介護予防・医療体制の充実等により、死亡率を下げることも、働く場の確保や多様な働き方を推進する社会増の取組との連携。

社会増（マイン命題）

これまで取り組んできたきた移住プロモーションをはじめとした小田原暮らしの「訴求」と、住む・働く・子育ての「環境整備」を両輪として、移住定住促進策を展開。

神奈川県年齢別人口統計調査結果（年齢3区分）

年齢 (3区分)	国・県・市	令和4年		令和3年		増減	
		人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
総人口	国	125,927,902		126,654,244		-726,342	-0.6
	神奈川県	9,231,177		9,236,337		-5,160	-0.1
	小田原市	188,025		188,709		-684	-0.4
年少人口 (14歳以下)	国	15,035,727	11.9	15,319,131	12.0	-283,404	-1.9
	神奈川県	1,065,999	11.8	1,082,584	12.0	-16,585	-1.5
	小田原市	20,114	10.9	20,535	11.1	-421	-2.1
生産年齢人口 (15～64歳)	国	74,962,731	59.5	75,566,552	59.7	-603,821	-0.8
	神奈川県	5,627,097	62.4	5,627,503	62.4	-406	0.0
	小田原市	107,847	58.4	108,346	58.4	-499	-0.5
老年人口 (65歳以上)	国	35,929,389	28.5	35,768,503	28.2	160,886	0.4
	神奈川県	2,324,007	25.8	2,312,173	25.6	11,834	0.5
	小田原市	56,835	30.7	56,599	30.5	236	0.4

*国と県の数値は公表されたものを掲載していますが、内訳などが一致していないところがあります。

*文字が多いと感じられましたら、情報のポイントを太い文字と青文字でまとめてありますのでお読みください。

小田原市 一般会計 令和3年度決算 財政運営は健全性を維持

一般会計の決算規模は、歳入が820億8700万円、歳出は771億8100万円、ともに令和2年度に比べ歳入が18.9%減、歳出が20.7%減となり大幅に縮小しました。**①実質収支**、いわゆる剰余金は47億1800万で、**②実質単年度収支**が16億6800万円の黒字となりました。小田原市の令和3年度の決算は、市議会9月定例会において承認されました。決算の詳細は「広報小田原」11月号をご覧ください。

歳入の特徴

新型コロナウイルス感染症の影響により市税が7億3700万円減少

自主財源の代表的なものである市税は、収入総額が319億3500万円、令和2年度と比べ7億3700円(2.3%減少)しています。

これは固定資産税が新型コロナウイルス感染症対策に係る軽減措置等により3億2200万円

歳出の特徴

(2.1%)減少し、個人市民税の現年課税分が給与所得の減少等により2億9100万円(2.5%)減少したためです。また、令和2年度は、ウイルス感染症対策関連の臨時収入が巨額であったことも減少の要因となっています。

義務的経費は扶助費が増加し、投資的経費は減少

③義務的経費のうち、

1位	藤沢市	443,053
2位	横須賀市	392,817
3位	平塚市	257,631
4位	茅ヶ崎市	245,852
5位	大和市	241,583
6位	厚木市	223,571
7位	小田原市	188,025
8位	鎌倉市	172,698
9位	秦野市	161,949
10位	海老名市	137,429
11位	座間市	132,260
12位	伊勢原市	101,381
13位	綾瀬市	83,304
14位	逗子市	56,823
15位	三浦市	41,817
16位	南足柄市	40,332

用語解説

①実質収支 歳入歳出差引額から次の年に使うこと

とが決定しているお金(翌年度)に繰り越すべき(財源)を差し引いたもの。

②実質単年度収支 単年度収支に黒字要素となる基金(貯金)積立額等を加え、赤字要素である基金(貯金)引き出し額を差し引いたもの。

③義務的経費 法令や性質上、支出が義務付けられており裁量的に減額できない経費で、人件費、扶助費、公債費がある。

④扶助費 小児医療費や児童手当、生活保護など福祉に関わる経費。

⑤投資的経費 道路等の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費等にあてられるもので、支出効果が長期間に及ぶもの。

県下16市 令和3年度一般会計決算 市民一人当たり換算比較

財政調整基金 (貯金) (円)		市債 (借金) (円)		歳出決算額 (円)				
1位	南足柄市	70,485	1位	横須賀市	488,394	1位	南足柄市	491,110
2位	厚木市	68,402	2位	三浦市	436,286	2位	横須賀市	447,231
3位	逗子市	41,720	3位	南足柄市	392,048	3位	三浦市	457,056
4位	鎌倉市	35,028	4位	小田原市	306,058	4位	厚木市	435,589
5位	茅ヶ崎市	33,615	5位	小田原市	294,709	5位	逗子市	434,616
6位	平塚市	30,049	6位	茅ヶ崎市	262,018	6位	小田原市	410,487
7位	小田原市	29,853	7位	厚木市	257,844	7位	綾瀬市	400,410
8位	座間市	28,081	8位	大和市	241,325	8位	海老名市	398,893
9位	藤沢市	27,898	9位	平塚市	227,084	9位	藤沢市	397,052
10位	三浦市	27,428	10位	秦野市	221,591	10位	平塚市	396,187
11位	綾瀬市	26,730	11位	伊勢原市	214,434	11位	鎌倉市	376,673
12位	大和市	24,760	12位	座間市	211,039	12位	座間市	372,088
13位	横須賀市	23,068	13位	海老名市	203,742	13位	大和市	365,311
14位	秦野市	21,470	14位	綾瀬市	188,721	14位	伊勢原市	356,038
15位	海老名市	20,639	15位	鎌倉市	178,622	15位	秦野市	349,677
16位	伊勢原市	17,023	16位	藤沢市	174,427	16位	茅ヶ崎市	339,423

*「かけはし」では、見えにくい情報や分かりにくい情報など、分かりやすくお伝えすることを心がけています。

穴部国府津線

城山多古線・小田原山北線

早期の整備が待たれる都市計画道路

都市計画道路の「穴部国府津線」は、市中心部の交通混雑を緩和するための環状機能を有する幹線道路として、また城山多古線・小田原山北線は、県西地域北部と小田原駅や完成後の市新病院へのアクセス道路としての機能が期待されています。両路線の整備により、小田原市内の道路ネットワークが強化され、災害時の代替ルートも確保されることから、早期の整備が待たれています。

穴部国府津線

総延長 約6・5 km

府川の県道74号（小田原山北）を起点として、酒匂川を渡り国道255号を経て、国府津の国道1号付近に至る総延長約6・5 kmの整備計画です。

未整備区間約1・2 km
(6期街路整備事業)

整備区間

用地取得率は、201

用地取得率 約6割

9（令和元）年8月時点で約2割であったものが、現在は約6割まで進捗しています。

完成目標は未定

用地取得は進捗しつつあるものの、多額の整備費を要することや用地交渉の長期化などの課題のほか、鉄道2社との橋梁構造などの協議も控えており、完成目標は明確になっていません。

城山多古線 小田原山北線

用地取得率 約9割

整備率 3割

現在、府川地区の県道74号（平面図①地点）から蓮正寺の県道720号付近（同図②地点）までの約1・2 kmの整備が進められています。

約300 mの道路が

整備されています。

2025（令和7）年度に供用開始予定

県では、2025（令和7）年度の供用開始を目指しています。

本年度（令和4年度）は、トンネル工事を発注する予定です。

2路線1事業として整備

「城山多古線」は、久野地区の山神下交差点（同図③地点）から多古地区までの400 m（うち220 mはトンネル区間）で、「小田原山北線」は、多古から穴部駅入口交差点（同図④地点）までの600 m、合わせて延長1・0 kmの2路線を1事業として整備しています。

幅員は11・25×15・50 m、車線は2車線、両側歩道（トンネル部は片側）で、現県道74号（小田原山北）のバイパスとして整備が進められています。

穴部国府津線・城山多古線・小田原山北線 整備区間平面図



④ 現小田原山北線との合流点



② 蓮正寺の県道720号付近



穴部地区の整備済み区間



③ 久野地区の山神下交差点

*「かけはし」の新聞折り込みは不定期です。発行ごとにご覧いただける方は1面上段の発行者までご連絡ください。（無料です）

耳より情報 市政あれこれ

■おだわら子育て世帯応援券(1人1万円分)を発行

市と小田原市商店街連合会では、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている子育て世帯と市内の事業者を支援するため、市内に住む18歳以下の子ども(約27,000人)がいる約16,000世帯を対象に、子ども1人に対して1万円の商品券を交付します。

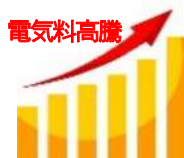


(イメージ)

- ◆交付対象…令和4年9月30日時点の住民登録者のうち、18歳以下の子どもがいる約16,000世帯
- ◆交付額面…子ども1人につき1冊10,000円の商品券
- ◆交付方法…11月中に世帯主あて簡易書留で郵送
- ◆使用期間…令和4年12月1日～令和5年1月31日
- ◆取扱店舗…市内約1,100店舗

■電気料高騰緊急支援事業補助金で支援

市では、長期化するコロナ禍での影響や、昨今の原油・物価高騰、不安定な国際情勢を鑑み、市内小規模事業者の事業継続を支援するため、事業に用いた電気料金の一部を補助します。詳細については、市のホームページに掲載されている「小田原市電気料高騰緊急支援事業補助金要項」をご確認ください。



- ◆補助内容…令和4年4～9月に支払った電気料(税込み)と、前年同時期の電気料金との差額に、補助率2分の1を乗じた額(上限20万円・1,000円未満の端数は切捨て)
- ◆申請期間…令和4年10月3日～令和5年2月28日(当日消印有効)ただし予算に達した時点で終了。

■小田原市のマイナンバー交付率 全国上回る50.1%

マイナンバーカードは、本人の申請により交付され、個人番号を証明する書類や本人確認の際の公的な本人確認書類として利用でき、また、様々な行政サービスを受けることができるようになるICカードです。交付手数料は、当面の間無料です。



令和4年9月末時点のマイナンバー交付率は、小田原市は50.1%で、全国49.0%、神奈川県52.2%です。

マイナンバーカードの交付申請は「市役所・住民窓口」「郵送」「パソコン・スマートフォン」「まちなかの証明写真機」「携帯ショップ」で行えます。

【問い合わせ先】小田原市役所 戸籍住民課 ☎33-1384

■電子図書館サービスはじまる

市では、インターネットに接続したパソコン・スマートフォン・タブレット端末などから電子書籍の検索、貸出、返却等ができ、読書を楽しむことができる電子図書館を10月27日から開始しています。



- ◆利用対象者…市内在住・在勤・在学で利用者カードをお持ちの方
- ◆所蔵書籍…当初500冊程度で今年度中に約1,000冊所蔵
- ◆利用方法…「小田原市電子図書館」のサイトにアクセスし、利用者IDとパスワードを入力してログインし、電子書籍の検索、貸出、返却等を行う。
- ◆貸出冊数…一度に貸し出せる冊数は3冊以内
- ◆貸出期間…2週間以内(貸出期間が過ぎると自動返却)

■オミクロン株対応ワクチン接種を実施中

市では、オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチン(オミクロン株対応ワクチン)による接種を実施中です。



- ◆接種対象者…初回(1・2回目)接種を完了した12歳以上で、最終の接種から5か月以上経過した方
- ◆使用するワクチン…オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチンで、次の2種類のワクチンを使用。
*ファイザー社製ワクチン(対象12歳以上)
*モデルナ社製ワクチン(対象18歳以上)
- ◆接種体制…集団接種と個別医療機関での接種
- ◆接種券発送…すでに3回目、4回目接種券が送付されている方は、その接種券を使用します。
- ◆予約・問い合わせ…市ホームページをご覧ください。か、市コールセンター☎050-5526-1151(8:30～17:00)へ

■小田原市役所でもキャッシュレス決済

市役所や公共施設の一部窓口で各種手数料や施設使用料などの支払いに、クレジットカード・電子マネーなどのキャッシュレス決済が利用できます。



【キャッシュレス決済が利用できる窓口】

- ◆本庁舎：〈2階〉市税総務課・資産税課・戸籍住民課・〈4階〉環境保護課・農業委員会事務局・〈5階〉土木管理課・〈6階〉都市計画課・建築指導課・開発審査課
- ◆出先機関：マロニエ・いずみ・こゆるぎ(各住民窓口及び総合案内・案内所)・アークロード市民窓口・消防本部予防課 ※窓口での税・保険料等の支払いは現金のみ